

## 平成 26 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(共和地区)

開催日時	平成 26 年 11 月 13 日 (木) 午後 7 時から午後 9 時 20 分	天気 晴れ
場所	旧共和小学校図書室	
町民参加者	男 19 人 女 8 人 (40 代以下 2 人、50 代 1 人、60 代以上 24 人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画財政課長、総務防災課長、参事兼都市整備課長、環境農林課長、商工観光課長、事務局 2 人	

### 出席者から出された主な意見や提案

#### 《テーマ：災害に強い町づくり》

- 最近狭い地域に短時間にものすごい量の雨が降るため、自治体としても予測ができずに対応が遅れることもある。町が避難準備や指示を出す際には何かの基準をもとに発令すると思うが、それは雨量計だと思う。
- 山北町は広い面積であるため、例えば共和地区に大量の雨が降っても雨量計が設置されていないので実数値は出てこない。例えば三保や川西に大量の雨が降った場合、そちらには避難指示が出るが共和には指示が出ないということになってくるのではないかな。
- 災害が発生した場合、町役場職員の方も被災する立場にあるかと思うが、そのような状況の中どのように対応していくのか。
- 大雨時には、スコリアのところから土砂が出てくるというのは解明されているので、山をつくりかえるという方法があるのではないかな。日差しがしっかりと下まで差し込んでいくような木、あるいは下層植生をした山にしていくようなことを考えていく必要があるのではないかな。
- AEDを地域で購入する際の助成制度をつくってほしい。

#### 《テーマ：鳥獣害対応について》

- 鳥獣被害で、野菜を作るにも困いをしなければできない状況であり、鳥獣害について非常に悩んでいることである。
- 山の環境が変わってしまい動物は山での生活ができなくなり、人里に降りてくるという状況である。動物を山に帰すには昭和 30 年代ごろの山の環境に戻せばいいのである。
- 捕獲後の対処になるが、他地域では県単位で加工場をつくって、捕獲したイノシシやシカを食肉用に加工しているところもある。共和は特産品も含めていろんな地域振興をやっている。そ

れを地域振興の1つとしていくことに町も応援してほしい。

○大野山牧場でシカ鍋やシカの焼き肉をやったりと順調にきたが、衛生上の関係で急に厳しくなりできなくなってしまった。そうすると駆除やってもしょうがないのではないか。1頭駆除すると1万円を出す市町もある。

### 《テーマ：町政全般》

○山づくりの件で、実のなる苗木作りに取り組んでいるが、川村小学校の子どもたちに参加してもらって、苗木づくりをしてもらえないかと町にお願いしたところ、さっそく校長先生と相談していただいてご理解をいただいた。

○大野山牧場のことになるが、平成28年3月をもって機能を廃止すると理解しているが、廃止以降どのように活用していくのか。